



飯網中学校では、清掃前に「黙想」を行い、ひとり一人がその日のめあてを決めてから「無言清掃」に取り組んでいます。1年生の教室では、自分の役割を黙々とこなしている様子がありました。



トイレ掃除を終えた生徒が、手洗い場の蛇口部分の水垢汚れを、たわしを使って落としています。細かなところまで気づいているなど感心しました。自主的に行動できるようになることが「無言清掃」のねらいです。



廊下では、膝をついて床をこするように雑巾がけをしています。「膝つき横拭き三度がけ」が飯網中学校の雑巾がけスタイルです。先生方も子どもたちと同じように雑巾がけに取り組んでいます。



清掃後、3年生にどんな気持ちで取り組んでいるか聞くと「学校に来た人が気持ちよく過ごしてほしい」「校舎に感謝したい」と答えてくれました。清掃活動を通して、子どもたちに思いやりや感謝の気持ちも育っています。